

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第98期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	岩崎電気株式会社
【英訳名】	IWASAKI ELECTRIC CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 渡邊 文矢
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番16号
【電話番号】	03(5847)8611(大代表)
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 加藤 昌範
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番16号
【電話番号】	03(5847)8611(大代表)
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 加藤 昌範
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第97期 第2四半期 連結累計期間	第98期 第2四半期 連結累計期間	第97期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (百万円)	22,949	21,984	53,269
経常利益 又は経常損失 () (百万円)	330	829	1,197
四半期純損失 () 又は当期純利益 (百万円)	353	610	414
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	339	638	582
純資産額 (百万円)	19,929	20,122	20,788
総資産額 (百万円)	57,600	58,315	61,486
1株当たり四半期純損失金額 () 又は1株当たり当期純 利益金額 (円)	4.76	8.21	5.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	32.3	32.3	31.7
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,398	228	42
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	469	67	940
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	40	7	9
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	10,013	12,189	12,019

回次	第97期 第2四半期 連結会計期間	第98期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	0.71	2.07

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第97期第2四半期連結累計期間及び第98期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第97期については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、内需が緩やかに持ち直しつつありますが、欧州の政府債務問題や円高・株安の影響、海外景気の下振れリスク等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下で、当社グループは、引き続き海外ビジネスの拡大、事業収益構造の再構築、LED事業の強化拡大及びHID光源の更なる進化等に取り組んでまいりました。特に需要が急拡大しているLED事業には、経営資源を重点的に投入して事業拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,984百万円（前年同期は22,949百万円で4.2%の減少）、営業損失601百万円（前年同期は152百万円で449百万円の悪化）、経常損失829百万円（前年同期は330百万円で498百万円の悪化）となりました。四半期純損失は、610百万円（前年同期は353百万円で256百万円の悪化）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<照明>

照明事業では、更なる高効率・低消費電力化、小型・軽量化、点滅・調光機能を実現した数々のLED新商品を市場に投入した結果、売上が増加となりました。一方、HID商品はLED化が進む中、微減に留まったことに加え、海外連結子会社のHID商品の売上は増加となりました。

これらの結果、売上高15,176百万円（前年同期は14,538百万円で4.4%の増加）、営業利益452百万円（前年同期は175百万円で158.3%の増加）となりました。

<光応用>

光応用事業では、UV装置関連は、国内をはじめとするアジア市場の低迷による出荷数量の減少に加え、収益につきましても、競争の激化により減少しました。映像用光源では、引き続き価格の下落が進み、数量ベースでも減少しました。また、情報表示板は、低調に推移しました。

これらの結果、売上高6,845百万円（前年同期は8,454百万円で19.0%の減少）、営業損失165百万円（前年同期は営業利益499百万円で665百万円の悪化）となりました。

なお、当社グループの売上・利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高及び利益は通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ169百万円増加し、12,189百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は228百万円となりました。主な増加要因は、売上債権の減少3,979百万円、減価償却費721百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少3,087百万円、たな卸資産の増加586百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果減少した資金は67百万円となりました。主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入539百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出588百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果減少した資金は7百万円となりました。主な増加要因は、短期借入による収入（純額）220百万円であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出160百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の支出額は282百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	239,000,000
計	239,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	78,219,507	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	78,219,507	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額(百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	78,219,507	-	8,640	-	6,085

(6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社みずほコーポレート 銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号	2,838	3.62
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	2,686	3.43
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号	2,000	2.55
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26番1号	1,984	2.53
岩崎電気協会持株会	東京都中央区日本橋馬喰町1丁目4番16号	1,672	2.13
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	1,495	1.91
アイランプ社員持株会	東京都中央区日本橋馬喰町1丁目4番16号	1,460	1.86
日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,395	1.78
シービーエヌワイ デイエフ エイ インターナショナル ス モール キャップ バリュー ポートフォリオ (常任代理人 シティバンク 銀行株式会社)	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	1,347	1.72
日本マスタートラスト信託銀 行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,336	1.70
計	-	18,214	23.28

(注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、信託業務に係る株式ではありますが、退職給付信託に係る株式は含んでおりません。

2. 上記のほか、自己株式が3,834千株(4.90%)あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,834,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 73,994,000	73,993	-
単元未満株式	普通株式 391,507	-	-
発行済株式総数	78,219,507	-	-
総株主の議決権	-	73,993	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数(株)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数(個)」の欄には同機構名義の議決権1個は含まれておりません。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
岩崎電気(株)	東京都中央区日本橋馬喰町 1丁目4番16号	3,834,000	-	3,834,000	4.90
計	-	3,834,000	-	3,834,000	4.90

(注)上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権の数1個)あります。なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれておりません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,824	12,990
受取手形及び売掛金	2 15,369	2 11,405
商品及び製品	5,753	6,095
仕掛品	1,551	1,722
原材料及び貯蔵品	3,554	3,655
その他	1,559	2,206
貸倒引当金	68	71
流動資産合計	40,544	38,004
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,605	10,172
その他(純額)	6,193	6,162
有形固定資産合計	16,798	16,334
無形固定資産	506	537
投資その他の資産	1 3,636	1 3,437
固定資産合計	20,941	20,310
資産合計	61,486	58,315
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,316	8,240
短期借入金	1,566	1,790
1年内返済予定の長期借入金	5,530	5,530
未払法人税等	233	140
賞与引当金	574	650
その他	2,836	3,121
流動負債合計	22,057	19,473
固定負債		
長期借入金	3,075	2,915
退職給付引当金	10,367	10,605
その他の引当金	237	223
負ののれん	39	19
資産除去債務	114	124
その他	4,806	4,831
固定負債合計	18,640	18,719
負債合計	40,697	38,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	6,189	6,189
利益剰余金	4,014	3,657
自己株式	908	908
株主資本合計	17,936	17,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382	273
土地再評価差額金	2,789	2,536
為替換算調整勘定	1,619	1,551
その他の包括利益累計額合計	1,552	1,258
少数株主持分	1,299	1,285
純資産合計	20,788	20,122
負債純資産合計	61,486	58,315

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	22,949	21,984
売上原価	16,399	15,754
売上総利益	6,549	6,230
販売費及び一般管理費	6,702	6,831
営業損失()	152	601
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	45	41
負ののれん償却額	80	19
持分法による投資利益	29	-
その他	75	66
営業外収益合計	237	135
営業外費用		
支払利息	145	144
持分法による投資損失	-	8
退職給付会計基準変更時差異の処理額	156	156
その他	114	53
営業外費用合計	415	362
経常損失()	330	829
特別利益		
固定資産売却益	11	71
負ののれん発生益	16	-
その他	1	0
特別利益合計	29	72
特別損失		
固定資産除売却損	23	9
投資有価証券評価損	17	35
その他	2	-
特別損失合計	43	44
税金等調整前四半期純損失()	345	801
法人税等	29	204
少数株主損益調整前四半期純損失()	315	597
少数株主利益	38	12
四半期純損失()	353	610

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	315	597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	109
為替換算調整勘定	18	63
持分法適用会社に対する持分相当額	28	4
その他の包括利益合計	24	40
四半期包括利益	339	638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377	651
少数株主に係る四半期包括利益	37	13

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	345	801
減価償却費	802	721
負ののれん償却額	96	19
貸倒引当金の増減額(は減少)	27	12
受取利息及び受取配当金	50	49
支払利息	147	144
為替差損益(は益)	15	7
持分法による投資損益(は益)	29	8
有形固定資産除売却損益(は益)	11	62
投資有価証券評価損益(は益)	17	35
売上債権の増減額(は増加)	2,939	3,979
たな卸資産の増減額(は増加)	640	586
仕入債務の増減額(は減少)	3,324	3,087
その他	1,318	293
小計	1,898	595
利息及び配当金の受取額	57	61
利息の支払額	148	146
法人税等の支払額	409	280
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,398	228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	428	588
有形固定資産の売却による収入	14	539
投資有価証券の取得による支出	3	3
貸付けによる支出	3	1
貸付金の回収による収入	21	13
その他	70	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	469	67
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,480	3,200
短期借入金の返済による支出	2,303	2,980
長期借入金の返済による支出	170	160
自己株式の取得による支出	0	0
少数株主への配当金の支払額	40	27
その他	6	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	40	7
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	15
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,916	169
現金及び現金同等物の期首残高	12,929	12,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,013	12,189

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産	313百万円	325百万円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	283百万円	397百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	2,465百万円	2,454百万円
賞与引当金繰入額	304	348
退職給付費用	341	330

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	10,814百万円	12,990百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	801	801
現金及び現金同等物	10,013	12,189

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光応用	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,500	8,449	22,949	-	22,949
セグメント間の内部売上高又は振替高	38	5	44	44	-
計	14,538	8,454	22,993	44	22,949
セグメント利益	175	499	675	827	152

(注)1. セグメント利益の調整額 827百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光応用	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,142	6,842	21,984	-	21,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	3	37	37	-
計	15,176	6,845	22,021	37	21,984
セグメント利益又は損失()	452	165	287	889	601

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 889百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引は全てヘッジ会計を適用しているため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	4円76銭	8円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 (百万円)	353	610
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 (百万円)	353	610
普通株式の期中平均株式数 (千株)	74,289	74,385

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

岩崎電気株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	麻生 和孝 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	江見 睦生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている岩崎電気株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、岩崎電気株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。